

# 「経済の視点から地理の授業を創る」

---

2024.08.19

埼玉県鳩山町立鳩山中学校/兵庫教育大学大学院

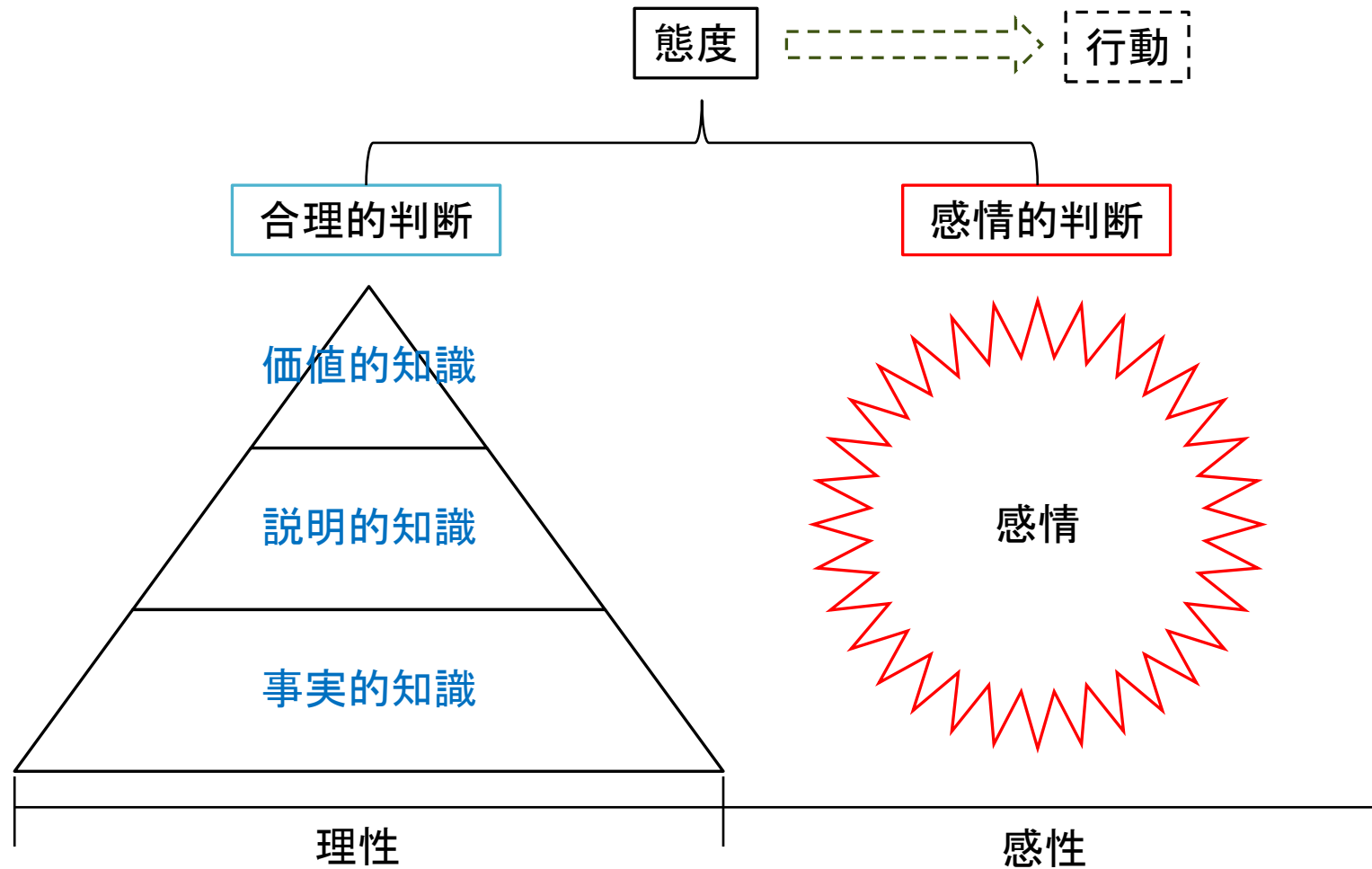
中西 覚(なかにし さとる)

# 今日の予定

1. 経済の視点をどのように取り入れるか
2. 実践事例(オセアニア州)
3. 経済の視点からの「問い」の例(単発の問い)
4. 経済の視点からの「問い」の例(単元を貫く問い)
5. おわりに

# 1. 経済の視点をどのように取り入れるか

## 社会科の授業で育んでいきたいこと 社会科における学力像



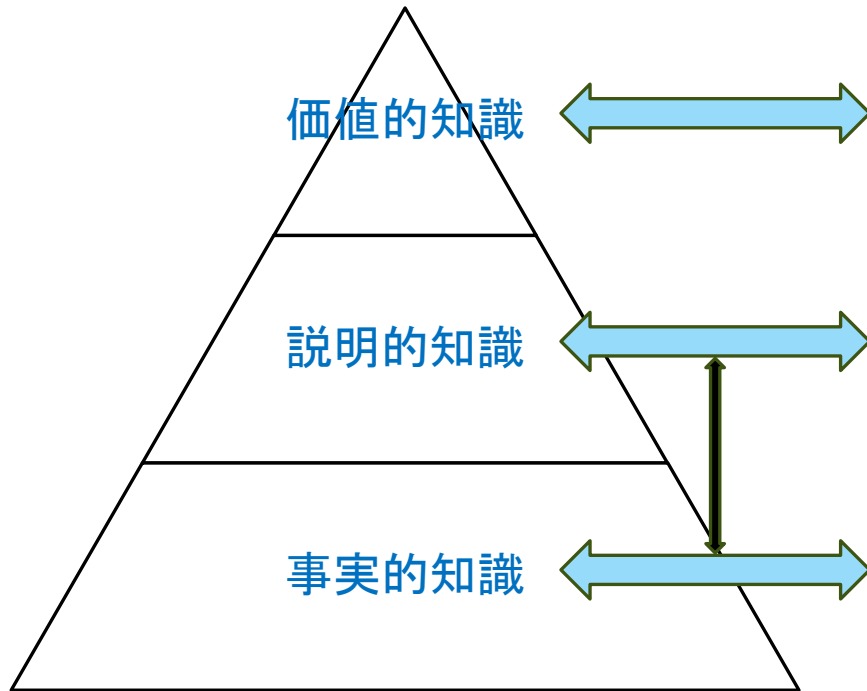
参考: 角田将士『NG分析から導く社会科授業の新公式』明治図書、2022

# 1. 経済の視点をどのように取り入れるか

社会科の授業づくりで大切にしたいこと → 「問い」とその分解

## 習得される知識

## 問いの種類



価値判断を求める問い

Which

難

なぜそうなっているんだろう？

情報間の関係を求める問い

Why

分解

⇕ 中間に位置する問い

How

情報を求める問い

When Where Who What

参考：角田将士『NG分析から導く社会科授業の新公式』明治図書、2022  
吉水裕也『地理的な見方・考え方を働かせた地理授業デザイン』明治図書、2023  
吉水裕也編『PBL社会科単元構成による中学地理の授業デザイン』明治図書、2023

# 1. 経済の視点をどのように取り入れるか

社会科の授業づくりで大切にしたいこと → 「問い」とその分解

例えば

どうしてインドはIT産業が強いのだろうか？

難

分解



どんな立地であることがインドの強みになっているのだろうか？

他の国とインドは何が違うのだろうか？

インド人にとってIT産業は何が魅力なのだろうか？ 等々...

問いを立てる際に経済の視点があると地理的事象の理解がしやすい

# 1. 経済の視点をどのように取り入れるか

	経済の視点	
前提	希少性	資源には偏りがある。少ないものは貴重。希少なものがある、または扱えると優位。
	トレードオフ	一方をとるともう一方はあきらめなければならない。時間、お金、もの、効率と公平。
人びとはどのように意思決定するか	インセンティブ	誘因。報酬は行動を起こしやすく、ペナルティは起こしにくくする。
	コスト	お金、機会費用。判断、行動はインセンティブがコストを上回ると起こる。
人びとはどのように影響しあうのか	交易	交易はお互いの利益を増やす。流通に便利な所で交易は行われる。 比較優位:ある財の機会費用に基づく生産者間の比較。
	市場	価格は売り手と買い手の関係で決まる。 市場は失敗することもある(外部性、市場支配力)
経済は全体としてどのように動いているか	政府の政策	政府は、市場の効率性あるいは公平性が下がったときに介入し、改善できる可能性がある。 政府がつねに市場の成果を改善できるわけではない。

参考 梶谷真弘『経済視点で学ぶ歴史授業』さくら社、2020

N・グレゴリー・マンキュー著 足立英之、石川城太、小川英治、地主敏樹、中馬宏之、柳川隆訳『マンキュー入門経済学[第3版]』東洋経済新報社、2019

# 1. 経済の視点をどのように取り入れるか

どうしてインドはIT産業が強いのだろうか？

難



どこにあることがインドにとって強みになっているのだろうか？  
→時差：アメリカと昼夜が逆である、24時間の稼働が可能に

希少性

他の国とインドは何が違うのだろうか？

→英語：かつてイギリスの植民地、準公用語

数学：二桁×二桁の掛け算 プログラミング教育が容易に

コスト

インド人にとってIT産業は何が魅力なのだろうか？

→カースト：新しい職業にカーストはない、開かれたチャンス！

インセンティブ

## 2. 実践事例(オセアニア州)

### B 世界の様々な地域

#### (2) 世界の諸地域

次の①から⑥までの各州を取り上げ、**空間的相互依存作用や地域**などに着目して、主題を設けて課題を追究したり解決したりする活動を通して、以下のア及びイの事項を身に付けることができるよう指導する。

① アジア

② ヨーロッパ

③ アフリカ

④ 北アメリカ

⑤ 南アメリカ

⑥ オセアニア



## 2. 実践事例(オセアニア州)

### 4) 空間的相互依存作用

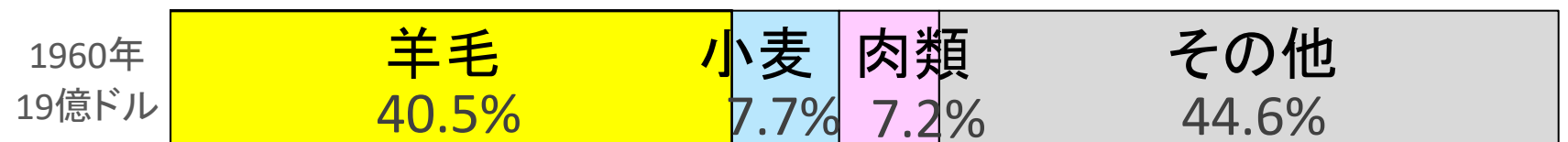
資源は、一般にこの地球上に不均等に分布する。資源の自給自足ができる国など存在しえない。また、場所は、資源や情報を交換するために、運輸・通信システムにより結ばれている。さらに、空間的相互依存作用に立ち入ってみると、**財や情報の交換、あるいは人口移動による人々の協力を理解することにつながる。**また、空間的相互依存作用を探求することは、現代の問題を浮き彫りにしたり、地域的、国家的あるいは国際的な相互依存作用や協力関係の改善へのアイデアを提起したり、あるいは、貧困と富裕並びに人類の福祉への深い理解をもたらしてくれる。

## 2. 実践事例(オセアニア州)

MQ:なぜオーストラリアに羊が多いのか



かつて「羊の背に乗った国」と言われた  
産業の主力が羊肉や羊毛生産であった  
300年前オーストラリアにヒツジは0頭



1960年のオーストラリアの輸出品『国連貿易統計年鑑1961』より作成

## 2. 実践事例(オセアニア州)

MQ:なぜオーストラリアに羊が多いのか

SQ:だれが持ち込んだのか

SQ:いつ持ち込んだのか

SQ:なんのために持ち込んだのか

インセンティブ

SQ:他の動物より何がよかったのか

インセンティブ

SQ:オーストラリアの自然環境はどのようなものか(羊との相性は?)

コスト

SQ:オーストラリアにはどのような動物が元々いたのか(羊との相性は?)

コスト

SQ:そもそもなぜわざわざオーストラリアだったのか? 等

交易

政府の政策

分解

## 2. 実践事例(オセアニア州)

### ○活動を終えて、生徒の考え

- ・羊が住む環境に適しているから。  
「乾燥に強い、天敵がない、塩分濃度が高い食べ物を飲食することができる」
  - ・肉が長持ちする。
  - ・毛織物工業のために必要だった。
  - ・羊が住むのに快適な気候(乾燥に耐えられる)
  - ・羊がオーストラリアで重宝されたから。
  - ・肉食獣がほとんどいなかったから(死ぬ可能性が低い)。
  - ・イギリスとの関係
  - ・オーストラリアの農業に使えない塩分の多い水がヒツジの飼育に向いていたから  
オーストラリアは、沿岸部を除いて乾燥大陸であるため、羊の飼育に適している。  
もともとイギリスの植民地であり、海に囲まれているため、船で運びやすかった。  
肉食動物に食べられる可能性が低いから。  
羊に適している塩分濃度の水が多くある。
- 季節が逆で、イギリスで寒くなってきた時期に温かい羊の羊毛を刈れる。

これは妥当か？

## 2. 実践事例(オセアニア州)

季節が逆で、イギリスで寒くなってきた時期に温かい羊の羊毛を刈れる。

これは妥当か？

コスト

- ・現在でも船で100日、飛行機で20時間かかる
- ・19世紀前半では、8か月※の航海を要した

→妥当ではなさそうだが、「時間距離」「経済距離」をつかむことにつながる

## 2. 実践事例(オセアニア州)

○次の時間からの問い

1. 貿易相手の中心はイギリスから変化したか、どこへ変わったか、なぜ変わったか

インセンティブ

コスト

2. 輸出品の中心は「羊」から変化したか、どのようなものへ変わったか、

なぜそれを輸出するのか

希少性

トレードオフ

市場

交易

3. 移民の中心はイギリスから変化したか、どこへ変わったか、なぜ変わったか

なぜわざわざオーストラリアへ？

政府の政策

### 3. 経済の視点からの問いの例

経済の視点をどのような場面で「問い」に用いるか

- ①MQのブレイクダウンorネタ挿入的に  
ここまで示したように問いのブレイクダウンに活用すると有効  
ひきつけるネタとして単発で活用し、だんだんと経済の視点を持てるようにすることも
  
- ②単元を貫く問いと関連させて  
経済の視点を柱として数時間の単元を構成

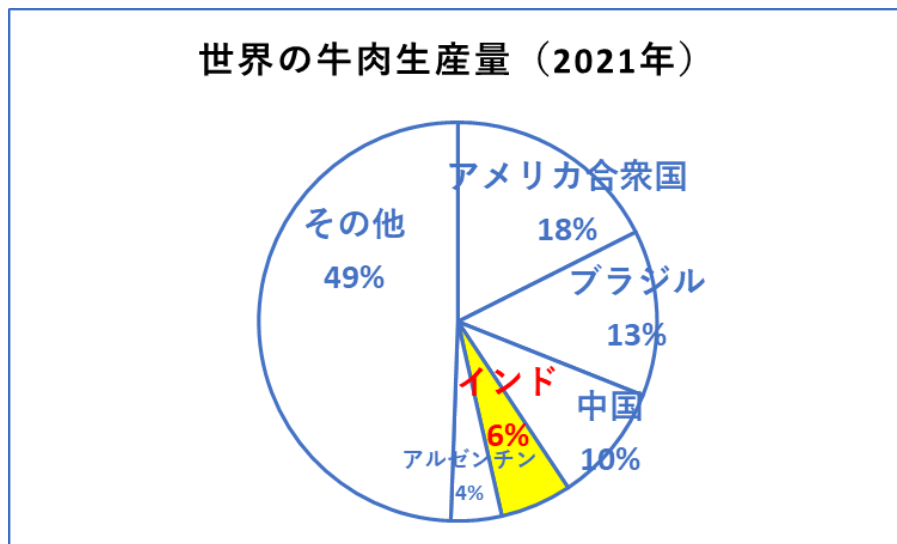
### 3. 経済の視点からの問いの例(単発の問い)

○ネタ挿入的に

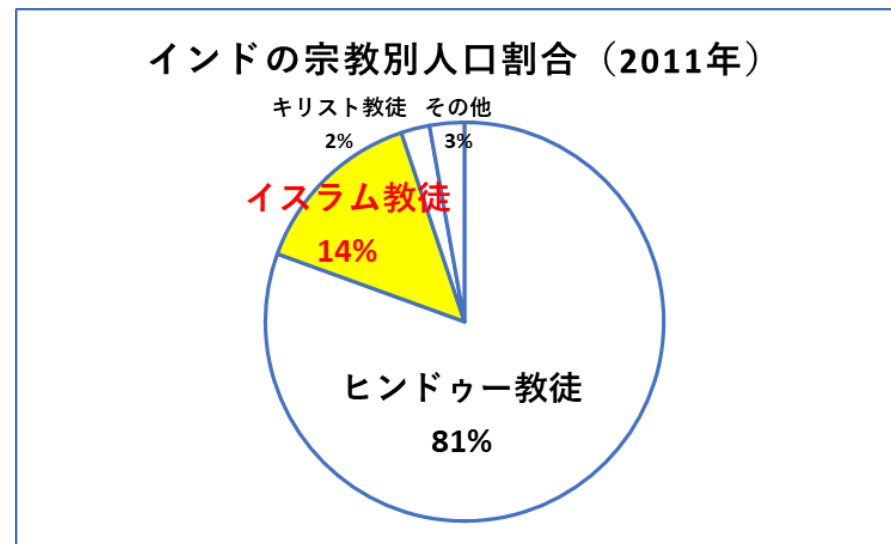
ひきつけるネタとして単発で活用 だんだんと経済の視点を持てるように

例①: インドで牛肉は生産されているだろうか? 売れるだろうか?

→ 牛肉の生産量世界第4位はインド (牛乳の生産量世界第1位はインド)  
「インドはヒンドゥー教徒のためだけにあるのではない」



FAOSTAT <https://www.fao.org/faostat/en/#home> 2024/07/11取得、作成



外務省HP <https://www.mofa.go.jp/mofaj/area/india/data.html> 2024/07/11取得、作成

参考 宮路秀作『経済から地理は学べ』ダイヤモンド社、2017



### 3. 経済の視点からの問いの例(単発の問い)

例②: チリ北部、500年以上雨が降っていないという記録、  
どうしてそんなところに住む人がいるのか

希少性

トレードオフ

インセンティブ



グーグルアースにて作成

### 3. 経済の視点からの問いの例(単発の問い)

例②: チリ北部、500年以上雨が降っていないという記録、  
どうしてそんなところに住む人がいるのか

希少性

トレードオフ

インセンティブ

→ 銅、硝酸ナトリウム、リチウム

天体観測: 標高5000mのアタカマ砂漠にアルマ望遠鏡

空気が薄く、晴天の多いアンデスの高地の特徴を活かす

## 4. 経済の視点からの問いの例(単元を貫く問い)

単元の問い: アフリカの国々の発展の難しさはどこにあるのか



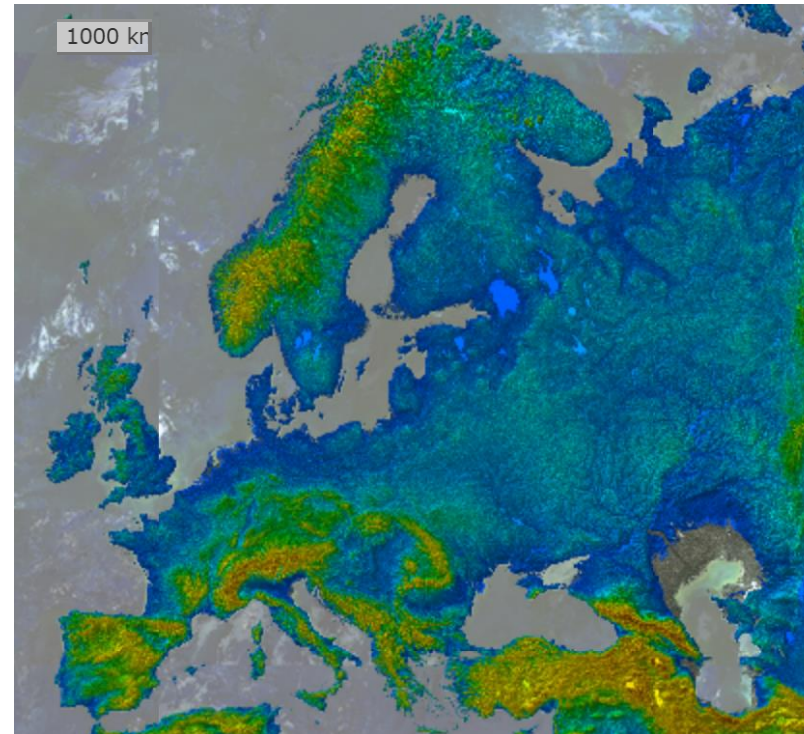
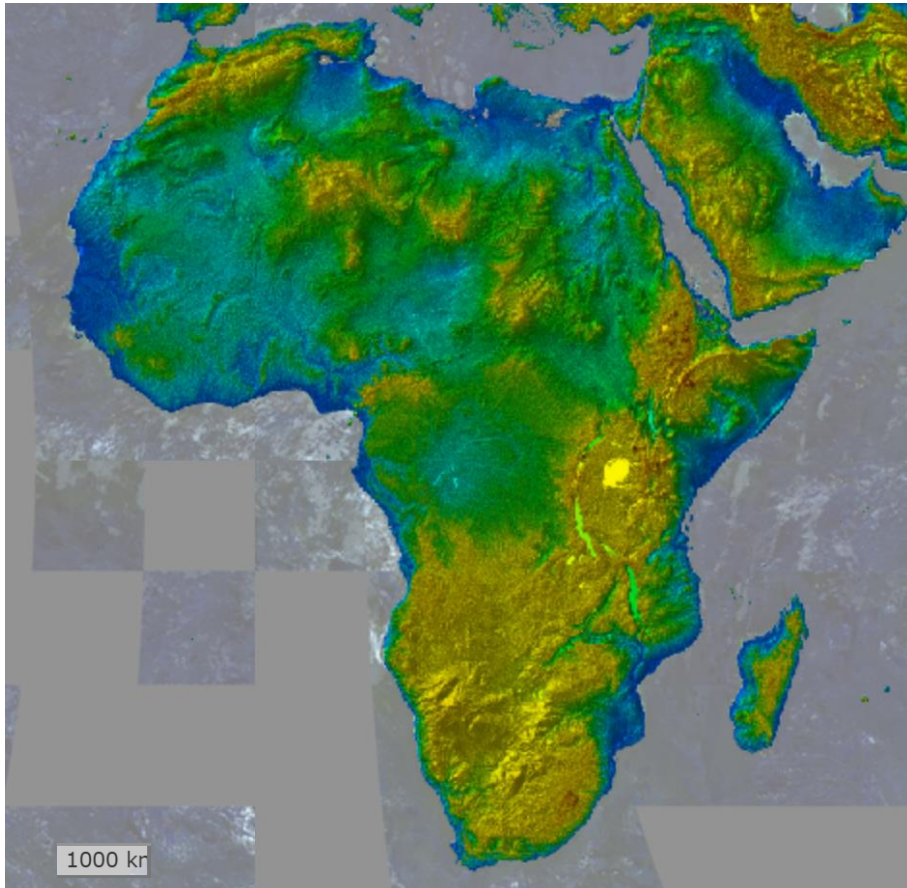
コンゴ民主共和国

## 4. 経済の視点からの問いの例(単元を貫く問い)

アフリカの国々の発展の難しさはどこにあるのか

MQ: アフリカの自然環境にはどのような特色があるか

SQ: ヨーロッパと比べると土地の高さに  
どのような違いがあるか



インセンティブ

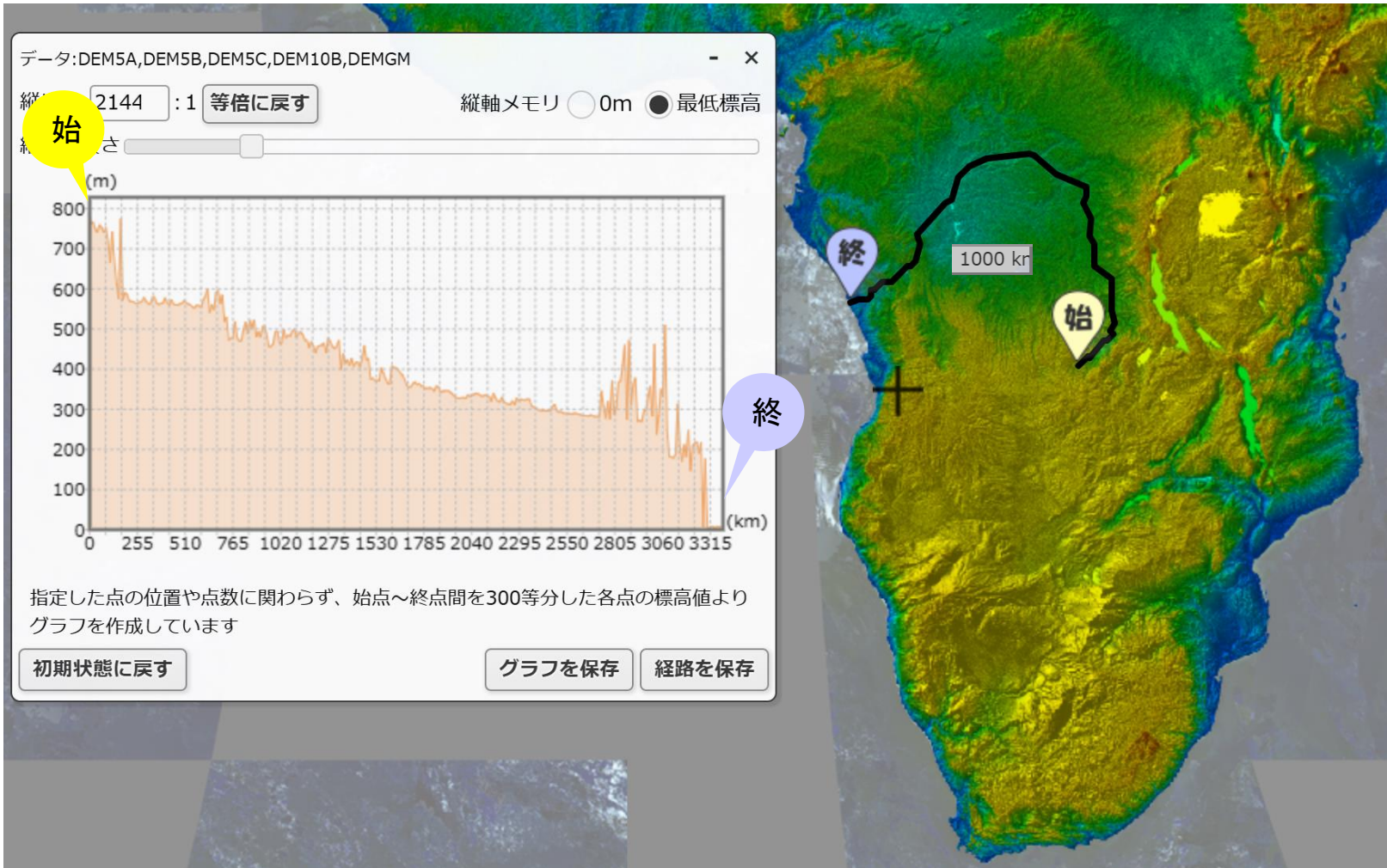
コスト

地理院地図にて作成

参考 井田仁康『世界の今がわかる地理の本』三笠書房、2023

## 4. 経済の視点からの問いの例(単元を貫く問い)

アフリカの国々の発展の難しさはどこにあるのか



例えば、  
アフリカで2番目に長い  
コンゴ川に着目すると

SQ: 河川にどのような特徴  
があるか(高低差)

インセンティブ

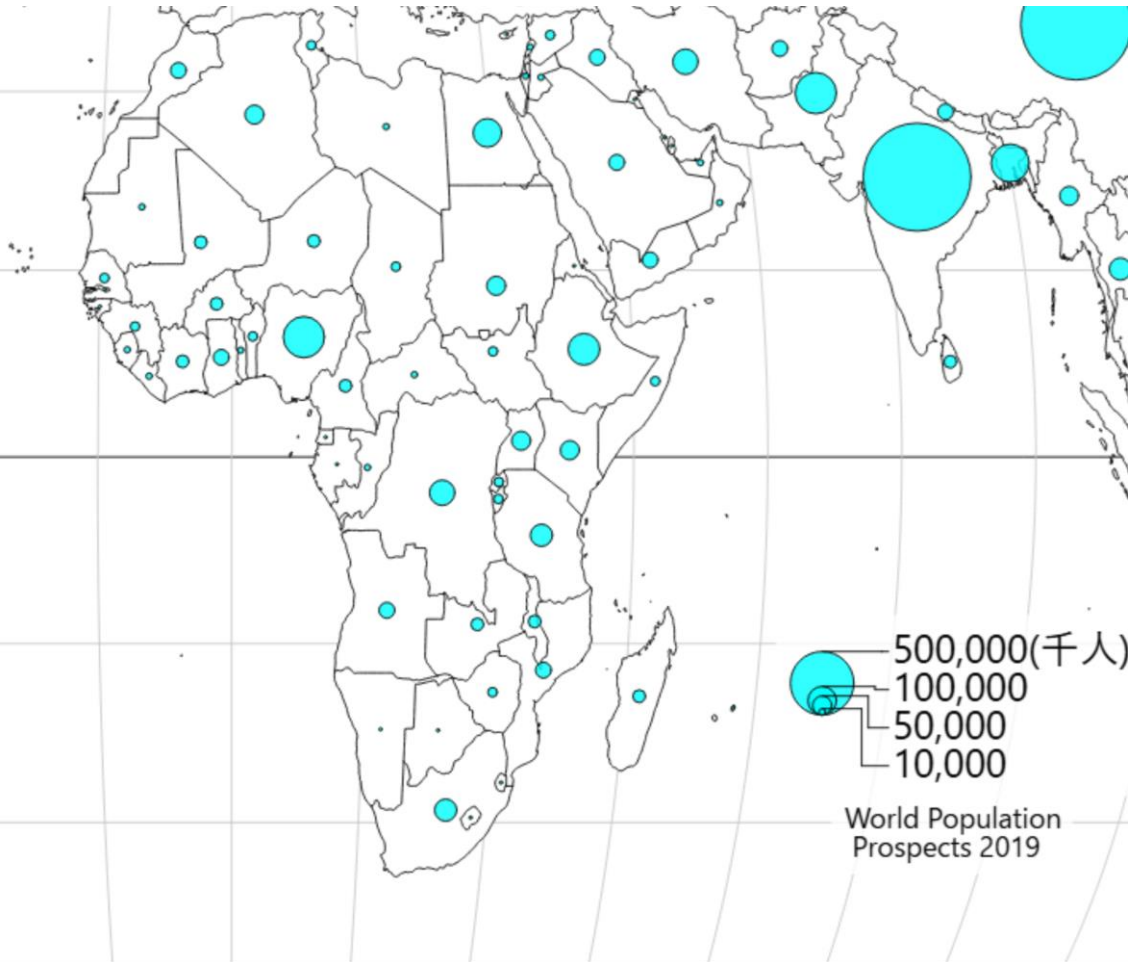
コスト

地理院地図にて作成

参考 井田仁康『世界の今がわかる地理の本』三笠書房、2023

## 4. 経済の視点からの問いの例(単元を貫く問い)

アフリカの国々の発展の難しさはどこにあるのか



2020年推計人口

MANDARA <https://ktgis.net/mdrjs/> にて作成

SQ: 人口の規模で見るとどのような課題があるか

インセンティブ

コスト

参考 宮路秀作『経済から地理は学べ』ダイヤモンド社、2017

## 4. 経済の視点からの問いの例(単元を貫く問い)

アフリカの国々の発展の難しさはどこにあるのか

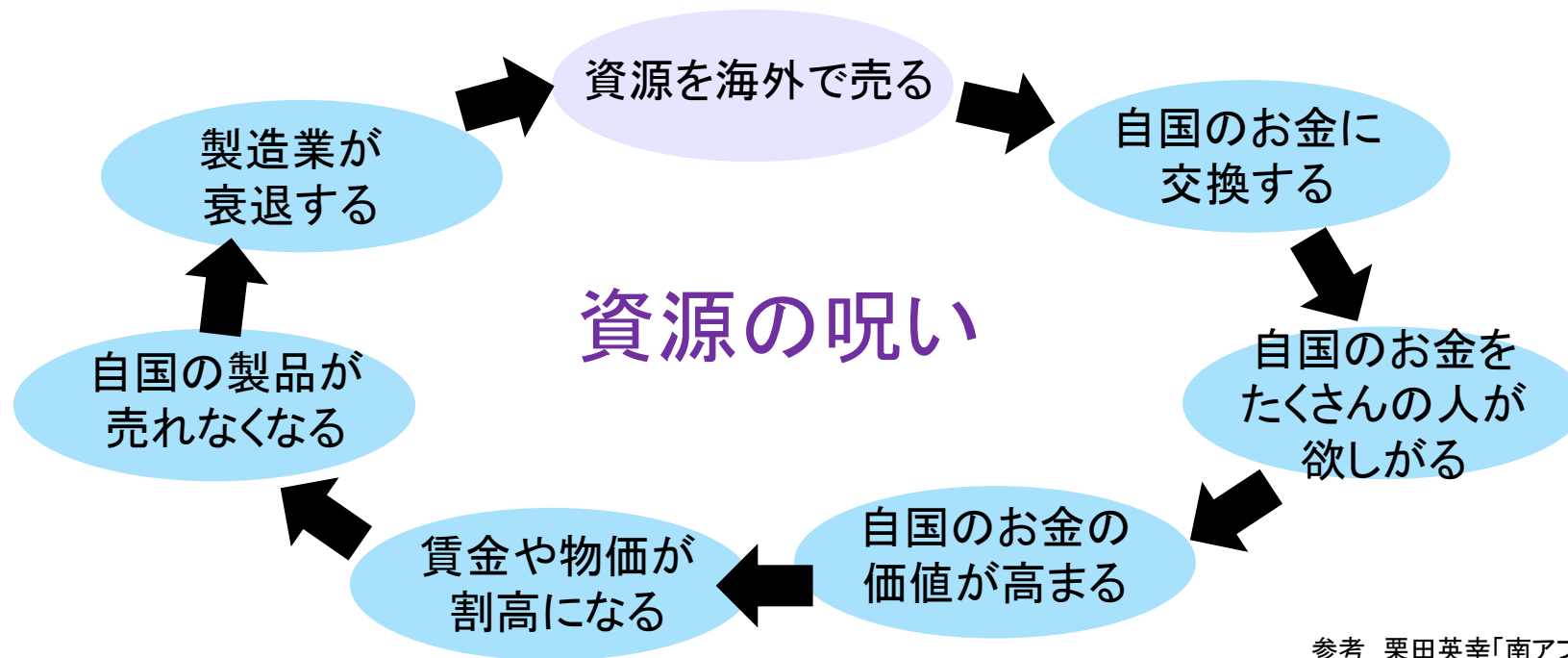
MQ:なぜ国家がなかなか安定しないのか

SQ:なぜ豊富な資源を発展にいかせないのか

インセンティブ

コスト

→ 資源の呪い(賃金高、通貨高)



参考 栗田英幸「南アフリカのapartheidと「資源の呪い」」  
愛媛大学経済学会『愛媛経済論集』42、2023

## 4. 経済の視点からの問いの例(単元を貫く問い)

アフリカの国々の発展の難しさはどこにあるのか

MQ:なぜ国家がなかなか安定しないのか  
SQ:資源を発展に活かしている国もある。  
その違いってなんだろう？

インセンティブ

交易

市場

政府の政策

→ わずかな人が富を握る

富を維持するための、政策(税、軍、選挙不正、判事買収等)

権力と利益をめぐる内紛へのインセンティブを生み出す

富は奪われるので、貯蓄、投資、革新へのインセンティブが生まれない



## 4. 経済の視点からの問いの例(単元を貫く問い)

アフリカの国々の発展の難しさはどこにあるのか

MQ:なぜ国家がなかなか安定しないのか

SQ:なぜ、人種隔離政策は1991年まで続いてしまったのか？

希少性

トレードオフ

プラチナの供給		
生産	南アフリカ	2257
	カナダ	150
	他	38
リサイクル	アメリカ	52
	日本	29
	他	51
ソヴィエトの販売分		200
合計		2777

プラチナの需要	
日本	1280
アメリカ	1218
他	413
合計	2911

(1985年、単位1000オンス)

Minerals yearbook: Metals and minerals 1985 Year 1985, Volume 1 1985 <https://search.library.wisc.edu/digital/APHC27J5PWAPMF8W> 2024/07/11取得、作成

参考 宮路秀作『経済から地理は学べ』ダイヤモンド社、2017

栗田英幸「南アフリカのアパルトヘイトと「資源の呪い」」愛媛大学経済学会『愛媛経済論集』42、2023

## 4. 経済の視点からの問いの例(単元を貫く問い)

アフリカの国々の発展の難しさはどこにあるのか

MQ:なぜ国家がなかなか安定しないのか

SQ:なぜ、人種隔離政策は1991年まで続いてしまったのか？

希少性

トレードオフ

→ 資源の呪い

プラチナ等レアメタル確保をとるか経済制裁を発動するか

冷戦終結によるロシアなどからのレアメタル輸入増

## 4. 経済の視点からの問いの例(単元を貫く問い)

アフリカの国々の発展の難しさはどこにあるのか

MQ:なぜ国家がなかなか安定しないのか

SQ:アフリカはなぜ国境線を引き直さないのか？

トレードオフ

コスト

2022年 国連本部にて、ケニア共和国キマニ国連大使の演説

現在、アフリカの全ての国の国境線をまたいで、歴史的、文化的、言語的に深い絆を共有する同胞たちがいます。独立する際に、もし私たちが民族、人種、宗教の同質性に基づいて、建国することを選択していたのであれば、この先何十年後も血生臭い戦争を繰り広げていたことでしょう。しかし、私たちはその道を選びませんでした。私たちは既に受け継いでしまった国境を受け入れたのです。

それでもなお、アフリカ大陸での政治的、経済的、法的な統合を目指すことにしたのです。危険なノスタルジアで歴史に囚われてしまったような国を作るのではなく、未だ多くの国家や民族、誰もが知らない、より偉大な未来に期待することにしたのです。私たちは、アフリカ統一機構と国連憲章のルールに従うことを選びました。それは、国境に満足しているからでなく、平和のうちに築かれる偉大な何かを求めたからです。

## 4. 経済の視点からの問いの例(単元を貫く問い)

アフリカの国々の発展の難しさはどこにあるのか

MQ:なぜ国家がなかなか安定しないのか

SQ:アフリカはなぜ国境線を引き直さないのか？

トレードオフ

コスト

→ 新たな争いが生まれるコスト

アフリカ統一機構(OAU)による取り決め

植民地境界線を受容したことが、かえって民族間の対立を生んだ.....。

## 4. 経済の視点からの問いの例(単元を貫く問い)

アフリカの国々の発展の難しさはどこにあるのか

→ 内陸国の多さ

標高200m未満の土地の少なさ: アフリカは10%未満、ヨーロッパは50%

海上交通と河川交通の分断: 全体として台地状

海岸に近い下流部で急流になる

人口規模の小ささ

資源の呪い(賃金高、通貨高、政治体制)

国境線の受容・民族の分断

## 4. 経済の視点からの問いの例(単元を貫く問い)

アフリカの国々の発展の難しさはどこにあるのか

MQ:なぜアフリカでアグリテック(agriculture+technology)が加速しているのか

インセンティブ

コスト

モバイル決済で、最も取引が行われている大陸はどこか → アフリカ

2021年の世界で決済されたモバイルマネー1兆ドルのうち、約7割がアフリカ

ケニアでのモバイル送金の額は、ケニアのGDPの半分に達する

参考 山形辰史『入門 開発経済学-グローバルな貧困削減と途上国が起こすイノベーション』中央公論新社、2023  
吉水裕也編『PBL社会科単元構成による中学地理の授業デザイン』明治図書、2023

## 4. 経済の視点からの問いの例(単元を貫く問い)

アフリカの国々の発展の難しさはどこにあるのか

MQ:なぜアフリカでアグリテック(agriculture+technology)が加速しているのか

インセンティブ

コスト

→ リープフロッグ(既存の技術をへることなく、いきなり最新の技術に到達する)

電話線が不要なスマホ

電話番号だけで送金できるシステム(ケニア発 エムペサ)

市場価格が認知できるように(仲介者なしでの販路確保)

生産量と質の向上(農家の悩みの声、ニーズの収集)

参考 山形辰史『入門 開発経済学-グローバルな貧困削減と途上国が起こすイノベーション』中央公論新社、2023  
吉水裕也編『PBL社会科単元構成による中学地理の授業デザイン』明治図書、2023

## 5. おわりに

### ○おわりに

- ・希少性、トレードオフ、インセンティブ、コストといった経済の視点を地理の学習の中でも意識し、問いをたてることで、項目を暗記するだけの静態地誌から逃れられる。
- ・そのような問いから出発することで、基礎教養としての地名物産も備わる。
- ・「概念を活用した」多面的・多角的な考察・構想・探究という高等学校への接続がスムーズになるのではないかと考える。



# 参考文献

- ・角田将士『NG分析から導く社会科授業の新公式』明治図書、2022
- ・吉水裕也『地理的な見方・考え方を働かせた地理授業デザイン』明治図書、2023
- ・吉水裕也編『PBL社会科単元構成による中学地理の授業デザイン』明治図書、2023
- ・宮路秀作『経済から地理は学べ』ダイヤモンド社、2017
- ・井田仁康『世界の今がわかる地理の本』三笠書房、2023
- ・中野英水『パフォーマンス課題を位置付けた中学校地理の授業プラン&ワークシート』明治図書、2021
- ・梶谷真弘『オーセンティックな学びを取り入れた中学校地理授業&ワークシート』明治図書、2024
- ・梶谷真弘『経済視点で学ぶ歴史授業』さくら社、2020
- ・N・グレゴリー・マンキュー著、足立英之、石川城太、小川英治、地主敏樹、中馬宏之、柳川隆訳『マンキュー入門経済学[第3版]』東洋経済新報社、2019
- ・『中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 社会編』、平成29年7月
- ・松原宏編『知識と文化の経済地理学』古今書院、2017
- ・水野一清『人間の営みが分かる地理学入門』角川文庫、2022
- ・経済地理学会編『キーワードで読む経済地理学』原書房、2018
- ・山形辰史『入門 開発経済学-グローバルな貧困削減と途上国が起こすイノベーション』中央公論新社、2023
- ・栗田英幸「南アフリカのアパルトヘイトと「資源の呪い」」愛媛大学経済学会『愛媛経済論集』42、2023
- ・ダロン・アセモグル、ジェイムズ・A・ロビンソン著、鬼澤忍訳『国家はなぜ衰退するのか 権力・繁栄・貧困の起源』上・下、早川書房、2013